

夢や希望をかなえるために

本居宣長さんの教え



「すべて新なる説を出すはいと大事也」

(たえず自分の頭で考えた新しいことを出してみることはとても重要です。)

自ら問いを見つけ、学んだことを活かし、判断して行動する中で、新たな考えや価値を創り出すことが大切です。

→ 新たな価値を創造する力・新たな問題を発見し解決できる力

「はじめよりその志を高く大きに立てて
その奥を究めつくさずはやまじ」

(最初から高い目標を立てて、それを解決するまではやめないで固く決意することが大切です。)

理想を実現しようと、高い志をもち、自分の個性や能力を伸ばして、粘り強く学び、自ら考え、判断し、行動することが大切です。

→ 主体的に判断できる力

「物の心を知るは世のありさまを知り
人の情に通じるより出ずる也」

(物事の本質を理解するということは、世の中の出来事や人の心をよく知ることから始まります。)

自分の考えを根拠とともにわかりやすく伝え、相手の考えを理解し考えを広げたり深めたり、相手への思いやりをもち力を合わせ活動したりすることが大切です。

→ 多様な人々と協働していくことができる力

5つのチャレンジ



【生活習慣を確立する】

わたしたちは、3つの時間(寝る時間・学習する時間・読書する時間)や、テレビを見たりスマホ・ゲームをしたりする時間を決めて、規則正しい生活習慣を身に付けます。



【主体的に学ぶ】

わたしたちは、自分で計画を立てて勉強し、学びに向かう力を身に付けます。



【説明力を伸ばす】

わたしたちは、自分の考えが伝わりやすいように、話したり書いたりします。



【考えを深める】

わたしたちは、人や本、自然などから学び、自分の考えを広げたり深めたりします。



【学んだことを活用する】

わたしたちは、学んだことを、日常生活や他の学習でも役立て、生活を豊かにしていきます。



学力を支える地域、育む家庭、伸ばす学校

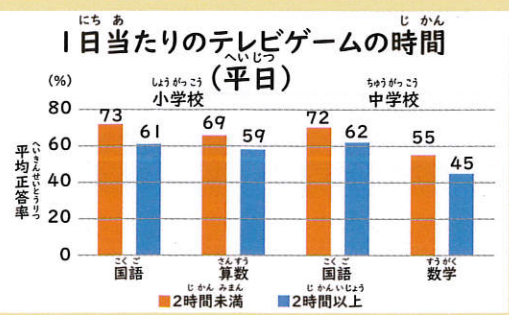


今、子どもたちは、変化の激しい時代を生きています。子どもたちには、自らの可能性を發揮し、他者との絆を大切にしながら、失敗を恐れず夢と志をもって挑戦し、豊かな未来を切り拓く力が求められています。学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、教育力を高めながら一体となって子どもたちに「未来を切り拓く力」を育てていきましょう。

全国学力・学習状況調査の学力と相関関係があった項目はこちら→
 「保護者の働きかけがある子どもの学力は高い」という傾向があります。
 ※以下のグラフは、令和4年度全国学力・学習状況調査の「児童生徒質問紙調査」において、学力との相関関係が見られた項目のグラフです。(数字は各教科の平均正答率)



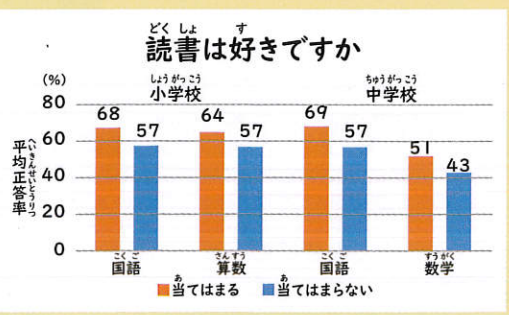
家庭 家族で語らう時間づくり 家庭学習・読書の習慣づくり



学力と「テレビゲームなどをする時間」には関係があります。各家庭で、ルールを話し合ったり、守れているかどうかを確認したりすることが大切です。

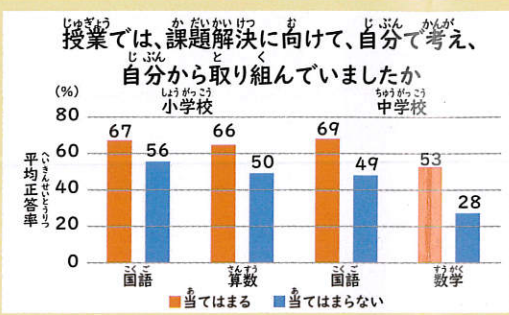


学力と「家庭学習をする時間」には関係があります。時刻や場所を決めて、毎日取り組み、子どもたちの意欲やがんばりを認める声かけが重要です。

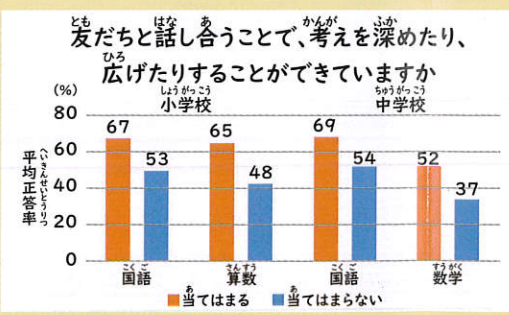


学力と「本や新聞を読むこと」には関係があります。家読(うちどく)の日を決めて、みんなで本を読んだり、読んだ本について話したり、家族で読書を楽しんでみてください。

学校 学ぶことの意義を感じられる授業づくり 安全で安心できる学級・学校づくり



子どもたちが課題の解決に向けて、主体的に考えをもてるよう、授業では、「興味・関心を喚起する課題や発問」、「考えをもつ時間の充実」に取り組むことが大切です。



子どもたちが主体的に自分の考えを伝え合い、考えを広げ、深めるために、授業では「伝え合う時間」の充実を図る必要があります。



子どもたちは話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます。そのためには、子どもたちが安心できる学級・学校づくりが大切です。

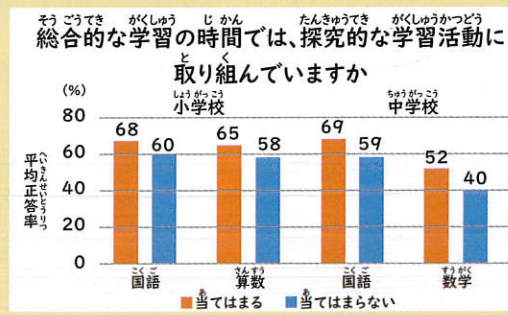
地域 持続可能な社会の創り手づくり 就学前・異校種間の連携づくり



松阪の子どもたちは、地域の行事に参加したり、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたりすることが全国と比べて高い傾向にあります。



「未来を切り拓く力」の育成には、学びの連続性や子どもたちと地域・社会とのつながりが重要です。地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進める必要があります。



総合的な学習の時間など、子どもたちが地域の産業や文化等を学び、社会の一員としての自覚が高まるよう、子どもたちへの関わりをお願いします。

子どもたちにとって、「学校」「家庭」「地域」は、一人ひとりが大切にされ、楽しく関わり合う中で、存在感や自己実現の喜びを実感しつつ、「未来を切り拓く力」を身に付けていく場です。学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちの「未来(あす)」を育てていきましょう。
 令和4年度松阪市学力向上推進協議会

5つのチャレンジ応援サイト

【子どもたちへ】QRコードをタブレット等で読み込み、夢に向かってやってみよう!と思ったチャレンジに取り組んでみましょう!

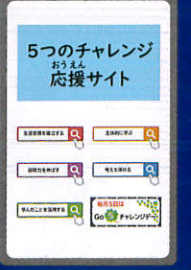
【地域・保護者のみなさんへ】子どもたちのチャレンジの応援の参考にしてください。QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

5つのチャレンジ応援サイト

例えば、【生活習慣を確立する】のページでは、

- ・3つの時間
- ・タブレットの使い方
- ・スマホのルール

などの参考資料を見ることができます。



夢に向かって Go5チャレンジ!

「本居宣長さんの教え 5つのチャレンジ」から、1年間続けるチャレンジや、1か月間重点的にチャレンジすることを決めて取り組みましょう。毎月5のつく日は、自分が決めたチャレンジをふり返ったり、新たなチャレンジを始めた日とします。家族やクラスの人々と一緒にチャレンジするのもいいですね。そして、家族や友だち、先生と自分の成長を語り合しましょう!

チャレンジ1 「生活習慣を確立する」チャレンジには、1年を通して取り組みましょう。

【生活習慣を確立する】



□ 3つの時間を決めて、規則正しい生活習慣を身に付けよう。

寝る時間 平日(:)~(:) 休日(:)~(:)

学習する時間 平日(:)~(:) 休日(:)~(:)

読書する時間 平日(:)~(:) 休日(:)~(:)

□ テレビを見たりスマホ・ゲームをしたりする時間を決めて、規則正しい生活習慣を身に付けよう。

○ 1日 ()分まで

○ 夜 ()時を過ぎたら使わない

○ 食事中・勉強中・入浴中は使用しない ※参考 松阪市教育委員会発行「正しく知ろう使い方 家庭で話そうわが家のルール」

チャレンジ2 チャレンジすることを自分で決めたり、家族で話し合ったりして取り組みましょう。取り組みうと思つた月にまる(○)をつけましょう。

【主体的に学ぶ】

□ 自分で計画を立てて勉強し、学びに向かう力を身に付けよう。

4月 5月 6月 7月 8月 9月

10月 11月 12月 1月 2月 3月

【説明力を伸ばす】

□ 自分の考えが伝わりやすいように、話したり書いたりしよう。

4月 5月 6月 7月 8月 9月

10月 11月 12月 1月 2月 3月

【考えを深める】

□ 人や本、自然などから学び、自分の考えを広げたり深めたりしよう。

4月 5月 6月 7月 8月 9月

10月 11月 12月 1月 2月 3月

【学んだことを活用する】

□ 学んだことを、日常生活や他の学習でも役立て、生活を豊かにしていこう。

4月 5月 6月 7月 8月 9月

10月 11月 12月 1月 2月 3月

毎月5日はGo 5 チャレンジデー



毎月5のつく日に、チャレンジをふり返りましょう。

「チャレンジ1」と「チャレンジ2」が達成できたら色をぬって、自分のがんばりを確かめましょう。

